

INFO-HIRO-21

第459号 2018年10月16日
弘前大学総務部総務広報課

イベントのお知らせ

テネシー大学マーチン校（アメリカ）教員交流プログラム招へい教員による学術講演会のお知らせ

弘前大学とテネシー大学マーチン校は、1980年（昭和55年）に大学間交流協定を締結しました。1985年（昭和60年）からは教員交流プログラムを開始し、多くの教員の受入と派遣を行い、活発な教育・研究交流が続いています。

このたび、このプログラムの招へい教員Philip Lynn Smartt 教授による学術講演会を開催いたします。

皆様のご参加をお待ちしております。

記

【日時】 平成30年10月16日（火） 16：00～17：30

【場所】 総合教育棟4階 405講義室

【講師】 テネシー大学マーチン校農学応用科学部教授 Dr. Philip Lynn Smartt

【演題】 Agritourism: Supporting Agriculture Through Economics and Education

【対象】 学生・教職員、どなたでも参加できます。

【申込】 事前申し込みは不要です。

※講演はすべて英語で行われます。

【問い合わせ先】 弘前大学国際連携本部

TEL：0172-39-3114 E-mail：jm3114@hirosaki-u.ac.jp

テネシー大学マーチン校（アメリカ）協定校説明会のお知らせ

このたび、本学の国際交流協定校であるテネシー大学マーチン校からPhilip Lynn Smartt 教授をお招きして、協定校紹介プレゼンテーションを行います。

テネシー大学マーチン校の先生から直接お話を伺える貴重な機会ですので、海外留学に興味のある方はぜひご参加ください。

2018年度 教員交流プログラム 招へい教員

学術講演会

＜講師＞

テネシー大学マーチン校 教授

Dr. Philip Lynn Smartt

Professor of Park Management and Heritage Interpretation
Department of Agriculture, Geosciences, and Natural Resources
The University of Tennessee, Martin



＜演題＞

Agritourism: Supporting Agriculture
Through Economics and Education

Agritourism refers to the combination of agriculture and tourism. According to the Tennessee Department of Agriculture, it includes farm education, farm activities, and direct purchase of farm products. It includes tours of production agriculture, corn mazes, hay rides, along with picking your own vegetables. These activities provide additional income for farm operations but they also provide an opportunity for the farmer to connect with the public and improve the perception of agriculture. Current activities will be discussed along with opportunities to make use of agritourism.

日時 2018年10月16日（火）
16:00～17:30
場所 総合教育棟4階 405講義室

事前申し込み
不要

- 学生、教職員、どなたでも参加できます。
- 講演はすべて英語で行われます。

（問い合わせ先） 弘前大学国際連携本部
Tel: 0172-39-3114
E-mail: jm3114@hirosaki-u.ac.jp



記

- 【日時】 平成30年10月17日（水） 13:00～14:00
- 【場所】 イングリッシュ・ラウンジ （総合教育棟2階）
- 【講師】 テネシー大学マーチン校教授
Dr. Philip Lynn Smartt
- 【内容】 テネシー大学マーチン校の紹介プレゼンテーション
- 【対象】 学生・教職員，どなたでも参加できます。
- 【申込】 事前申し込みは不要です。

※入退場自由です。※説明会はすべて英語で行われます。

- 【問い合わせ先】 弘前大学国際連携本部
TEL: 0172-39-3114 E-mail: jm3114@hirosaki-u.ac.jp



平成30年度弘前大学総合文化祭「農学生命科学部公開講座：山間地の自然と防災

—国内外の事例から考えるその持続的な保全— 開催のお知らせ

1. 日時：平成30年10月21日（日）13:30～15:00
2. 場所：弘前大学農学生命科学部4階 433講義室
3. 対象：一般，教職員，学生の方等どなたでも歓迎いたします。
※参加無料，事前申込み不要です。
4. 受付：当日（433講義室前で行います。）
5. 演題 「山間地の自然と防災—国内外の事例から考えるその持続的な保全—」

講師 農学生命科学部 地域環境工学科 教授 檜垣 大助氏

内容 山間地は，豊かな自然とそれを利用した人々の暮らしが展開される場ですが，一方で，地すべりなど土砂災害の危険がつきまといまいます。ヒマラヤや国内各地の事例から山間地の持続的な保全を考えます。

問い合わせ先

弘前大学農学生命科学部地域連携推進室（事務：研究協力担当）
TEL: 0172-39-3756 E-mail: jm3756@hirosaki-u.ac.jp



弘前大学人文社会科学部 国際化フォーラム2018

International Forum 2018 at the Faculty of Humanities and Social Sciences, Hirosaki University

本学の協定校の1つであるフランス ボルドーモンテーニュ大学よりDr. Alexis GORGUES氏をお

招きし、特別講演をして頂きます。講演中の使用言語は英語ですが、質疑応答の際には通訳が付きます。皆様方の多数のご参加をお待ちしております。

- 【日時】：平成30年10月24日（水） 14:30-16:00
- ・Processes, time(s) and space:
Production patterns in the Mediterranean Iron Age (c.800-c.50BC)
「プロセス・時間・空間～地中海鉄器時代における生産様式～」
- ・講師 ボルドーモンテニュ大学 准教授 Alexis GORGUES
- ・コメンテーター 人文社会科学部 准教授 植月 学
人文社会科学部 講師 片岡 太郎
- 【場所】：人文社会科学部4階 多目的ホール

問合せ先：人文社会科学部 片岡太郎 taro@hirosaki-u.ac.jp
人文社会科学部総務G jm3187@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学人文社会科学部 国際化フォーラム2018
【特別講演】
International Forum 2018
At the Faculty of Humanities and Social Sciences, Hirosaki University
Processes, time(s) and spaces: production patterns in the Mediterranean Iron Age (c.800 - c.50 BC)
プロセス・時間・空間
～地中海鉄器時代における生産様式～
Lecturer: Dr. Alexis GORGUES
Associate professor at the university of Bordeaux Montaigne (Bordeaux, France)
講師：アレクシ・ゴルグエ（ボルドーモンテニュ大学・准教授）
Commentator: Manabu UETSUKI and Taro KATAOKA
Faculty of Humanities and Social Sciences, Hirosaki University
コメンテーター：植月学、片岡太郎（弘前大学人文社会科学部）
14:30 - 16:00 Wednesday, October 24, 2018
The Faculty Hall 人文社会科学部4階 多目的ホール
【どなたでもご参加できます。事前予約・申し込み等は必要ありません】
問い合わせ先
人文社会科学部 片岡 0172-39-3114 taro@hirosaki-u.ac.jp
人文社会科学部総務G 0172-39-3187 jm3187@hirosaki-u.ac.jp

延辺大学（中国）教員交流プログラム招へい教員による学術講演会のお知らせ

弘前大学と延辺大学（中国）は、2000年（平成12年）に大学間交流協定を締結しました。2009年（平成21年）からは教員交流プログラムを開始し、毎年双方の教員の受入れと派遣を行い、活発な教育・研究交流が続いています。

このたび、このプログラムの招へい教員 金 桂花 准教授による学術講演会を開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

記

- 【日時】 平成30年10月25日（木） 16:00～17:30
- 【場所】 医学部 臨床小講義室
- 【講師】 延辺大学医学院 金 桂花 准教授
- 【演題】 B細胞アダプター蛋白による実験性自己免疫性脳脊髄炎と皮膚接触炎の制御
- 【対象】 学生・教職員、どなたでも参加できます。
- 【申込】 事前申し込みは不要です。

※講演はすべて日本語で行われます。

【問い合わせ先】 弘前大学国際連携本部
TEL: 0172-39-3114 E-mail: jm3114@hirosaki-u.ac.jp

延辺大学（中国）協定校説明会のお知らせ

このたび、本学の国際交流協定校である延辺大学（中国）から 金 桂花 准教授をお招きして、協定校紹介プレゼンテーションを行います。

延辺大学の先生から直接お話を伺える貴重な機会ですので、協定校交換留学や短期留学（夏休み語学研修）など、海外留学に興味のある方はぜひご参加ください。

2018年度 教員交流プログラム 招へい教員

学術講演会

〈講師〉

延辺大学医学院
金 桂花 准教授



〈演題〉

B細胞アダプター蛋白による実験性自己免疫性
脳脊髄炎と皮膚接触炎の制御

日時 2018年 10月25日（木）
16:00～17:30
場所 医学部 臨床小講義室

事前申し込み
不要

- 学生、教職員、どなたでも参加できます。
- 講演はすべて日本語で行われます。

〈問い合わせ先〉 弘前大学国際連携本部
TEL: 0172-39-3114
E-mail: jm3114@hirosaki-u.ac.jp



記

- 【日時】 平成30年11月2日（金） 12:00～13:00
- 【場所】 イングリッシュ・ラウンジ （総合教育棟2階）
- 【講師】 延辺大学医学院 金 桂花 准教授
- 【内容】 延辺大学の紹介プレゼンテーション
- 【対象】 学生・教職員、どなたでも参加できます。
- 【申込】 事前申し込みは不要です。

※入退場自由です。※説明会はすべて日本語で行われます。

- 【問い合わせ先】 弘前大学国際連携本部
TEL: 0172-39-3114 E-mail: jm3114@hirosaki-u.ac.jp



『第36回東北理学療法学会』および『市民公開講座』の開催のお知らせ

青森県の短命県返上に関するさまざまな取り組みを鑑み、理学療法士が国民の健康増進にどのように関わっていくべきかを見直す機会となるべく、テーマ「ヘルスプロモーションと理学療法」にて学会大会を開催いたします。本学会では全国的に各分野で活躍されている第一線の先生方をお招きし、下記の通り特別講演・セミナー・教育講演・市民公開講座を企画しました。なお市民公開講座は、弘前大学大学院医学研究科社会医学講座の中路重之特任教授が講師を務めております。ご興味がある方はどなたでも無料にて参加が可能ですので、この機会に多くの皆様にご参加いただければ幸いです。

- 【名称】 第36回東北理学療法学会大会
- （HP: <http://congress.pt-tohoku-block.org/>）
- 【日時】 平成30年11月3日（土）・4日（日）
- 【会場】 ホテル青森（青森市堤町1丁目1-23）
- 【テーマ】 「ヘルスプロモーションと理学療法」
- 【大会長】 尾田 敦
（弘前大学大学院保健学研究 科総合リハビリテーション科学領域）
- 【内容】
- 11月3日（土）
- 特別講演 「地域保健活動の実践と理学療法士の役割」
梅田 孝（名城大学薬学部 健康・スポーツ科学研究室）
- セミナー1 「脳卒中後の歩行トレーニングーあるべき姿と新たな試みー」
大畑 光司（京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻）
- セミナー2 「臨床に活かす戦略的思考に基づいた動作分析」
石井 慎一郎（国際医療福祉大学大学院 福祉支援工学分野）
- 教育講演 「運動による認知症予防」
島田 裕之（国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター 予防老年学研究）
- 11月4日（日）
- セミナー3 「がんリハビリテーション最前線～社会復帰・健康寿命延伸への挑戦」
辻 哲也（慶應義塾大学 医学部 リハビリテーション医学教室）



セミナー4 「尿失禁患者に対する理学療法の可能性」

大内 みふか（北海道医療大学 リハビリテーション科学部）

市民公開講座「多職種連携で短命県は返上できるか？」

中路 重之（弘前大学大学院 医学研究科 社会医学講座）

【対象者】理学療法士・関連職種・学生・一般市民（興味のある方はどなたでも）

【参加費】市民公開講座は無料、学術大会は有料（詳細はホームページ参照）

【お問い合わせ先】〒036-8564 青森県弘前市本町66-1

弘前大学大学院保健学研究科 藤田俊文

電話 0172-39-5544 Email pttoshi@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学農学生命科学部附属生物共生教育研究センター 「農場祭」のお知らせ

弘前大学農学生命科学部附属生物共生教育研究センターでは、地域の皆様との結びつきを深めるために「農場祭」を開催します。どうぞお気軽にご来場ください。

1. 日 時：2018年11月10日（土） 10：00 ～ 14：00
2. 会 場：弘前大学金木農場 五所川原市金木町芦野84-133
3. 催し物

★農産物販売コーナー（10：00～）

金木農場と藤崎農場で丹精込めて作ったものです。ぜひ、お買い求めください。

金木農場産・・・新米（つがるロマン、てんたかく、タヤけもち）、弘大アップルビーフ

藤崎農場産・・・リンゴ、長ネギ等、「逸品 こうこう極」数量限定販売予定

（いずれも数に限りがございますので、売り切れの場合はご了承ください）

★イベント

◆体験

- ・コメあじくらべ（11：00～）どのお米が1番おいしいかな？
アンケートにお答えいただくと・・・お気に入りのお米1種類をプレゼント！

◆豚肉試食（終日）

- ・（株）木村牧場との共同研究で生産された豚肉です。是非ご試食下さい。

◆研究展示（終日）

・生物共生教育研究センターではどんな研究を行っているか、日頃の研究をパネルにてご紹介し

★出店販売コーナー（10：00～）

- ・稲垣町「おかずや」
- ・弘大生協コーナー・・・金木農場産酒米を使用した日本酒「弘前大学」など
- ・お食事コーナー・・・そば、うどん、フランクフルトなど



問い合わせ先：弘前大学農学生命科学部附属生物共生教育研究センター 金木農場

電話：0173-53-2029 F A X：0173-52-5137

E-mail：jm532029@hirosaki-u.ac.jp

H P：<http://nature.cc.hirosaki-u.ac.jp/kyousei/event.html>

「世界糖尿病デー in 弘前」のお知らせ

11月14日は国連により公式認定されている「世界糖尿病デー」です。世界各地で糖尿病の予防、治療、療養を喚起する様々なイベントが開催されています。我が国でも全国各地で観光施設や著名な建造物がブルーにライトアップされます。

弘前市では、「青森銀行記念館のブルーライトアップ」を行います。また、それに先立ちまして11

どなたでもご参加いただけます。ぜひこの機会にご自身やご家族、大切な人と一緒に糖尿病について考えてみませんか？

◎2018年11月14日（水）17時～翌朝まで
世界糖尿病デー ブルーライトアップ
場所：青森銀行記念館（旧第五十九銀行本店本館）
（弘前市元長町26）

また、写真撮影参加者先着20名様に記念品を差し上げます。

部長 上原修先生

世界糖尿病デー in 弘前

ブルーライトアップ
点灯式：11月14日(水) 17時頃
場所：青森銀行記念館

点灯式後に写真撮影を行います。
先着 20名様に記念品を差し上げます。

主催：弘前大学大学院医学研究科 内分泌代謝内科学講座

弘前公開糖尿病教室
11月11日(日) 10:00～12:00
土手町コミュニティパーク 多目的ホール

いずれも
参加申込不要、参加費無料
どなたでもご参加いただけます。
糖尿病食について一緒に考
えてみませんか？

弘前大学青森銀行記念館

連絡先：弘前大学大学院医学研究科 内分泌代謝内科 担当(佐藤)
TEL 019-233-6100 FAX 019-233-6053 E-mail: shibayama@hiroshima-u.ac.jp

[illegible]

■申 込：団体名・所属・役職・氏名を記載の上、
以下の電話番号またはメールアドレスまでご連絡ください。

■申込締切：平成30年10月10日（水）
（ただし、定員を超えた場合は申込みを締め切らせていただきます。）

■入場料：無料

【問い合わせ・申込み先】弘前大学 研究・イノベーション推進機構

T E L：0172-39-3907 E-mail：kensui@hirosaki-u.ac.jp

H P：<http://www.innovation.hirosaki-u.ac.jp/>

第43回弘前大学経済学会大会のお知らせ（再掲）

弘前大学経済学会では、第43回大会を下記の通り開催いたします。

今回は青森大学学長の金井一頼氏をお招きし「地域創生とイノベーション」と題するご講演を企画しました。さらに、本学会会員による日頃の研究成果の発表を予定しています。多数の皆さまのご参加をお待ちしております。なお大会への参加は無料です。

記

第43回弘前大学経済学会大会

日時：2018年10月19日（金）14:00～17:40

会場：弘前大学人文社会科学部多目的ホール（人文社会科学部校舎4階）

プログラム

1. 開会挨拶 森 樹男会長（弘前大学人文社会科学部教授） 14:00～14:05

2. 講演

講師 金井 一頼氏（青森大学学長）
演題 地域創生とイノベーション 14:10～15:20

3. 研究発表

発表者 綿引 宣道氏（長岡技術科学大学工学研究院教授） 15:30～16:30

発表題目 長岡の産業クラスター形成史

討論者 内藤周子（弘前大学人文社会科学部准教授）

4. 研究発表

発表者 花田 真一 氏（弘前大学人文社会科学部講師） 16:40～17:40

発表題目 政策間の相互作用が再生可能エネルギー普及に与えた影響

討論者 飯島裕胤（弘前大学人文社会科学部教授）

5. 懇親会

18:10～20:10

弘前大学文京キャンパス周辺のお店を会場として、会費4,000円程度を予定しています。参加される方は、学会開催の2～3日前までに事務局までご連絡下さい。

問い合わせ先：

〒036-8560 弘前大学人文社会科学部 弘前大学経済学会事務局（黄）

TEL（FAX）：0172-39-3287 E-mail：keizaigakkai@hirosaki-u.ac.jp

平成30年度 弘前大学総合文化祭「知の創造」、保健学研究科 市民公開講座

『医療のいろは・放射線は道しるべ』開催のお知らせ（再掲）

放射線画像診断は、身体の外から体内へ
アプローチする道しるべ
放射線診療はあなたの健康を守る道しるべ
放射線治療は、未来をひらく道しるべ
歯みがきは、未来の健康への道しるべ

この度『医療のいろは・放射線は道しるべ』をテーマに市民公開講座を開催いたします。

事前の申し込みは不要ですので、参加を希望される方は、当日直接会場にお越しください。多数のご参加をお待ちしております。

1. 日 時：2018年10月19日（金）17時30分～19時00分
2. 会 場：弘前大学創立50周年記念会館 2F 岩木ホール
3. テーマ：『医療のいろは・放射線は道しるべ』
4. 内 容：講演1 「子供の歯を守るために。」

細川 洋一郎 先生（弘前大学大学院保健学研究科教授）

講演2 「知っておくと役に立つ放射線検査の基礎知識

～切らずに体の中が見える訳～

齋藤 陽子 先生（弘前大学大学院保健学研究科教授）

5. 入場料：無料
6. 対 象：一般市民・学生
7. 問合せ：弘前大学大学院保健学研究科総務グループ（電話0172-39-5905）

※本事業は「国立大学フェスタ2018」（<http://www.janu.jp/univ/festa/>）に参加しています。



医は仁術か？医療に国境はないのか？『国境なき医師団』看護師:白川優子さん講演会（再掲）

1999年ノーベル平和賞NGO『国境なき医師団』看護婦として、シリア、イエメン、ガザ、南スーダンなどで活動されている、白川優子さんに、紛争地での医療の限界、人道的問題など、一般ジャーナリストが伝え得ない内容を語ってもらいます。

日程：平成30年10月19日（金）

時間：15:00～17:00 著書サイン会は講演後生協で行います

場所：国立大学法人弘前大学
弘前大学創立50周年記念会館みちのくホール

講師：国境なき医師団 白川優子

参加費：無料

対 象：学生、本学教職員、一般の方等どなたでも

問合せ先：長瀬 智行
〒036-8561 青森県 弘前市文京町3
弘前大学理工学部電子情報工学科 電話番号0172-39-3632, FAX番号 0172-39-3632

**医は仁術か？
医療に国境はないのか？**



シリア、南スーダン、イエメン、ガザ、イラク...
の現実を『国境なき医師団』看護婦、
『紛争地の看護師』著者 白川優子さんが語ってくれます。
10月19日(金) 午後3時～5時弘前大学みちのくホール
入場無料

平成30年度 弘前大学大学院保健学研究科

市民公開講座「足の科学からみたスポーツ障害の予防」開催のお知らせ（再掲）

足は万病のもとといえます。スポーツでけがをしては、せっかく鍛えた成果を充分出せずに終わってしまいます。特に足はどのようなスポーツでも基本になるものです。そこで、昨年に引き続いて、足の機能や形態について科学的見地からスポーツ時の障害予防について講師がわかりやすく説明します。また、足の健康について実際に足部計測して相談にのります。皆様の多数のご参加をお待ちしております。

【日 時】平成30年10月20日（土）10：00～11：30

【場 所】弘前大学50周年記念会館 岩木ホールAB（弘前市文京町1）

【対 象】一般市民，スポーツ指導者，運動部員，保護者等

【参加費】無料（事前申し込み不要）

【内 容】

講演「足の科学からみたスポーツ障害の予防」

講師：弘前大学大学院保健学研究科 教授 尾田 敦氏

足の健康相談コーナー

【主 催】弘前大学大学院保健学研究科

【お問い合わせ先】弘前大学大学院保健学研究科総務グループ

〒036-8564 青森県弘前市本町66-1 TEL：0172-39-5905 E-mail：jm5905@hirosaki-u.ac.jp



弘前大学基金事業「UCSF看護短期研修」成果報告会 開催のお知らせ（再掲）

保健学研究科 放射線看護教育支援センターでは、8月19日から25日にかけてUCSF（カリフォルニア大学サンフランシスコ校）において短期研修を行い、アメリカで活躍する専門看護師との交流やシミュレーション演習の参観，病院見学等を通して，アメリカにおける看護の実際を体験してきました。

この度，成果報告会を開催することとなりましたので，ご興味のある方は，是非ご参加ください。

【日 時】10月26日（金）17：45～18：45

【場 所】保健学研究科B棟3階 第33講義室

【内 容】○UCSF看護短期研修について

北島麻衣子，會津桂子（放射線看護教育支援センター員）

○研修を受けての学び

研修参加者：田中小鉄，羽山佳奈子

（博士前期課程放射線看護高度看護実践コース）

中村暖，三浦あづ美，斎藤華歩（医学部保健学科 看護学専攻）

【参加費】無料（事前申込不要）

【対 象】興味・関心のある方はどなたでも参加可能

【主 催】弘前大学大学院保健学研究科 放射線看護教育支援センター

*この事業は，弘前大学基金事業「米国の放射線被ばく管理の現状調査及び高度実践看護師との交流プログラム」の支援を受けて実施しました。



【お問い合わせ】 弘前大学保健学研究科 放射線看護教育支援センター（事務担当：柏村）
〒036-8564 青森県弘前市本町66-1
TEL：0172-39-5518 E-mail：kashimura-a@hirosaki-u.ac.jp

平成30年度 文部科学省「国際原子力人材育成イニシアティブ事業」

「看護職の原子力・放射線教育のためのトレーナーズトレーニング」開催のお知らせ（再掲）

この研修は看護教育に係る教員に放射線の知識を深めていただくために開催するものです。将来的には患者さんや原子力・放射線災害時の被災者の方々と最も身近に係わる看護職に、放射線に関する知識・技術を修得していただくことを目的としています。講義とともに放射線測定器による計測や移動型エックス線撮影装置による被ばく線量を測定するなどの演習を行い、放射線を身近に分かりやすく理解できるようにしています。看護職の方も受講できます。

【日 時】 ●第7回トレーナーズトレーニング平成30年10月27日（土）、28日（日）

【場 所】 弘前大学大学院保健学研究科（青森県弘前市本町66番地1）

【テーマ】 「看護職の原子力・放射線教育のための
トレーナーズトレーニング」

【対 象】 主に看護教育に係わる教育機関の先生方。看護職の方も
受講できます。（先着20名）

※申込先着順で定員に達し次第、申し込み受付終了とさせていただきます。

【スケジュール】 1日目：13時30分～18時00分（会場・受付開始／13：00）

≪講 義≫ ①放射線利用における看護職の役割
②原子力・放射線利用の概要及び放射線の基礎
③放射線による健康影響とリスク

2日目：8時30分～13時00分

≪実 習≫ ①自然放射線の理解

放射線測定器を用いた放射線の計測と霧箱による放射線の観察

②外部被ばくに対する防護方策

放射線防護の基本となる事項（時間、遮蔽、距離）

③移動型エックス線撮影装置に対する防護方策

撮影現場における線量の把握

注）予定時間より延びることがあります。あらかじめご了承ください。

【受講料】 無料

「看護と放射線－放射線を正しく理解する」日本アイソトープ協会刊（2016）をテキストとして無料配布します。

【申込方法】 Web参加登録 Eメールによる事前申し込みとなります。

●下記URLから申し込み手続きを行ってください。

公益社団法人日本アイソトープ協会 <http://www.jrias.or.jp/>

【主 催】 公益社団法人日本アイソトープ協会

【協 賛】 弘前大学大学院保健学研究科

*本事業は、公益社団法人日本アイソトープ協会が、文部科学省「国際原子力人材育成イニシアティブ事業（原子力人材育成等推進事業費補助金）」として3ヶ年計画（平成28年度～平成30年度）で実施しています。



【お問い合わせ先】 弘前大学大学院保健学研究科 総務グループ（担当：柏村）
電話：0172-39-5518 E-mail：hiro.rns@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学大学院人文社会科学部 修士論文中間報告会（FD公开发表会）開催のお知らせ（再掲）

・日 時
2018年10月31日（水） 14:30～19:35（予定）

・会 場
総合教育棟1階 101講義室

・内 容
人文社会科学部（修士課程）の大学院生の研究発表

－発表題目及び発表者－
電気自動車メーカーの競争優位の比較分析
陳 佳琦（指導教員：森 樹男）

電子商取引における他業界に与える影響
殷 金怡（指導教員：森 樹男）

中国における日系コンビニの発展について
金 娜（指導教員：森 樹男）

中国企業における対日進出モデルについて－買収を中心に－
金 玲（指導教員：森 樹男）

満州時代における高木恭造の研究
栄 昊宇（指導教員：渡辺 麻里子）

江戸川乱歩作品における〈視覚〉と〈触覚〉
－「屋根裏の散歩者」と「人間椅子」を視座として－
板垣 貴子（指導教員：尾崎 名津子）

安部公房『箱男』における「ぼく」と都市の関係
梁 悦（指導教員：尾崎 名津子）

女性農業者のライフコースと継承
長船 亜紀子（指導教員：羽瀨 一代）

平安時代における儀式の場と機能
相馬 志織（指導教員：武井 紀子）

海防から見た蝦夷地警備
長尾 彩花（指導教員：関根 達人）

洪大容研究－その自然観と科学活動を中心に－
朱 貞敏（指導教員：李 良）

当研究科の大学院生の研究活動や研究内容にご関心をお持ちの方は、お気軽にご参加ください。
※入場無料、事前の申込は不要です。

弘前大学大学院
人文社会科学部 修士課程
Hirosaki University Graduate School of
Humanities and Social Sciences

学問の深奥を究め、高度職業人を育てる

修士論文中間報告会 (FD公开发表会)

日時 2018年10月31日（水）14:30～19:35
場所 総合教育棟1階 101講義室

～プログラム～

14:30	開会の辞
14:35～15:00	電気自動車メーカーの競争優位の比較分析 陳 佳琦（指導教員：森 樹男）
15:00～15:25	電子商取引における他業界に与える影響 殷 金怡（指導教員：森 樹男）
15:25～15:50	中国における日系コンビニの発展について 金 娜（指導教員：森 樹男）
15:50～16:15	中国企業における対日進出モデルについて －買収を中心に－ 金 玲（指導教員：森 樹男）
16:25～16:50	満州時代における高木恭造の研究 栄 昊宇（指導教員：渡辺 麻里子）
16:50～17:15	江戸川乱歩作品における〈視覚〉と〈触覚〉 －「屋根裏の散歩者」と「人間椅子」を視座として－ 板垣 貴子（指導教員：尾崎 名津子）
17:15～17:40	安部公房『箱男』における「ぼく」と都市の関係 梁 悦（指導教員：尾崎 名津子）
17:50～18:15	女性農業者のライフコースと継承 長船 亜紀子（指導教員：羽瀨 一代）
18:15～18:40	平安時代における儀式の場と機能 相馬 志織（指導教員：武井 紀子）
18:40～19:05	海防から見た蝦夷地警備 長尾 彩花（指導教員：関根 達人）
19:05～19:30	洪大容研究－その自然観と科学活動を中心に－ 朱 貞敏（指導教員：李 良）
19:30	閉会の辞

主催：弘前大学大学院 人文社会科学部

・問い合わせ先

弘前大学人文社会科学部 総務グループ教務担当

TEL : 0172-39-3941 E-mail : jm3941@hirosaki-u.ac.jp

「日本コンピュータ化学会2018秋季年会(弘前)」開催のお知らせ(再掲)

日本コンピュータ化学会2018秋季年会(弘前)の開催をご案内します。詳しくは下記URLをご覧ください。多くの方々のご参加をお待ちしております。

会 期 : 平成30年11月3日(土)～11月4日(日)
会 場 : 弘前大学 創立50周年記念会館
URL : <http://www.st.hirosaki-u.ac.jp/sccj2018autumn/>

研究発表主題 : ・計算化学(分子軌道法, 分子力学法, 分子動力学法, モンテカルロ法など)

・理論化学(電子状態理論など)
・情報化学(データベース, ケモメトリックスなど)
・数理化学, コンピュータ支援化学教育, その他コンピュータ化学に関する研究

発表形式 : ・口頭発表
・ポスター発表

申込み締切 : ・発表申込み: 8月17日(金)
・講演要旨原稿: 9月18日(火)
・事前参加登録・懇親会参加予約: 9月18日(火)
申込みは上記URLの各フォームからお願いします。

特別講演 : ・石川顕一 先生(東京大学)
・長岡正隆 先生(名古屋大学)

一般公開イベント : 1日目(11月3日) 10:00～12:40開催 「科学発信!! Hirosaki」
一般, 特に高校生向けに学会の一般公開・科学イベントを開催します。計算と化学の面白さを広く知っていただけるようなデモ展示や講演などを実施します。

招待講演 : 「みんなのスパコンTSUBAME3.0 “いろんなところで役立つスパコン”」
渡邊寿雄 先生(東京工業大学)

ブース展示 : デモ展示・演習実験, 高校クラブ等のポスター発表

事前の参加申込みは上記URLのフォームからお願いします。

参加費 : 無料

定 員 : 80名程度

申込み締切 : 10月12日(金)

※人数に余裕がある場合には当日参加を受け付けます。

主催 : 日本コンピュータ化学会

共催 : 日本化学会, 弘前大学

協賛 : 高分子学会, CBI学会, 触媒学会, 日本薬学会, 分子科学会

お問い合わせ先 : 実行委員会委員長 岡崎 功

実行委員会委員 丹波 澄雄, 宮本 量, 山崎 祥平
(弘前大学大学院理工学研究科)

(tel 0172-39-3661, email sccj2018autumn@st.hirosaki-u.ac.jp)

「シミュレーション教育における指導者育成コース・ダイジェスト版」開催のお知らせ（再掲）

保健学研究科では京都大学医学部附属病院から内藤知佐子先生をお招きし、「シミュレーション教育における指導者育成コース・ダイジェスト版」を開催いたします。

本事業は、被ばく医療に関連するシミュレーショントレーニング教育に携わる教育関係者や医療従事者が基礎的な指導方法を学ぶための研修で、効果的なシミュレーション教育の実践を目指し、指導者に求められるスキルとマインドを修得ことを目的としています。

ぜひお気軽にご参加ください。

- 【日 時】 11月4日（日）10：00～16：00
- 【会 場】 弘前大学大学院保健学研究科B棟3階 第33講義室
- 【講 師】 京都大学医学部附属病院 総合臨床教育・研修センター
クリニカルシミュレーションセンター 内藤 知佐子 氏
- 【内 容】
 - ・指導者に求められる7つの心構え
 - ・成人教育のコツ
 - ・シミュレーション教育とは
 - ・学習者体験
 - ・効果的なシミュレーション教育実践のコツ
 - ーファシリテーションスキル
 - ーデブリーフィングスキル
- 【参加費】 無料（事前申込制）
- 【申 込】 下記サイトの専用フォームからお申し込みください
弘前大学保健学研究科被ばく医療人材育成推進プロジェクトHP
<http://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/~hibakupj/>
- 【対 象】 学生、教職員、その他医療従事者（30名程度）
- 【主 催】 弘前大学保健学研究科 被ばく医療人材育成推進委員会
- 【お問い合わせ】 弘前大学保健学研究科 総務グループ（担当：桑田）
〒036-8564 青森県弘前市本町66-1
TEL：0172-39-5518 E-mail：hiro.rns@hirosaki-u.ac.jp



弘前大学大学院人文社会科学部 入試説明会のお知らせ

（一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜（第2期）〈平成31年度春季入学〉）（再掲）

- ・日 時
2018年11月9日（金） 18：00～19：10
- ・会 場
人文社会科学部校舎4階 多目的ホール
- ・内 容
入試の説明のほか、研究科の概要説明、個別相談等を行います。
～プログラム～
 1. 人文社会科学部研究科について
 2. 入学試験（一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜）について
 3. 大学院生の声
 4. 教員からのメッセージ
 5. 院生室見学
 6. 個別相談



・対象者

人文社会科学研究科に興味のある方ならどなたでも参加可能です。
大学院を検討しているすべての学年の方、どうぞご参加ください。
※事前の申込は不要です。

・問い合わせ先

弘前大学人文社会科学部 総務グループ教務担当

TEL：0172-39-3941 E-mail：jm3941@hirosaki-u.ac.jp

第12回弘大病院がん診療市民公開講座開催のお知らせ（再掲）

弘前大学医学部附属病院が主催で、一般市民を対象に公開講座を開催いたします。

がんゲノム医療、乳がんについて、専門家がそれぞれの立場から市民の皆様にわかりやすく講演いたします。講演後には質疑応答の時間を設けております。

1. 日 時：平成30年12月2日（日）13：00～15：30
2. 場 所：弘前市市民会館 大会議室（弘前市大字下白銀町1番地6）
3. 内 容：演題 1 がんゲノム医療って何？ ～がんと遺伝子の関係～
演題 2 私の乳がんは遺伝するのですか？
4. 対 象：一般市民（定員100名）
5. 入 場 料：無料
6. 事前申込：不要
7. 問い合わせ先：弘前大学医学部附属病院がん相談支援センター
TEL：0172-39-5174（直通）

2018年度弘前大学北日本考古学研究センター企画展

『津軽に稲作がやってきた！本州北限の水稻農耕文化』（再掲）

1. 主旨

「環境変動」という言葉も今ではすっかり定着し、歴史を紐解くと、北日本は環境激変によって、他の地域より大きな影響を受けてきました。しかし過去の人々は、新しい農作物の導入や資源の開発・物流拠点の形成という生業的・文化的適応を行うことで、その変化を乗り切ってきました。彼らの知恵を研究し、活用することは、これから突入する環境激変期に適応する大きなカギとなります。北日本には世界的に環境激変期の生態系を知るうえで貴重な考古学的フィールドおよび戦略上不可欠な農作物遺伝資源の研究蓄積・環境分析・材質分析技術があります。

平成28年度より弘前市清水森西・砂沢遺跡、鶴田町廻堰大溜池（1）遺跡の発掘調査により弥生・古墳時代の良好な資料群を得られたのを契機に、その調査成果を速報するとともに、北日本における水稻農耕文化への過程をこの地域の考古資料を用いて展示します。本企画展は、これまで非公開だった貴重な資料をふくめ、現在までに得ている成果を一般に公開するとともに、出土したイネの形態・DNA分析といった最新の成果を公表いたします。



2. 開催期間 2018年10月6日（土）～11月11日（日）10:00～16:00 ※期間中無休 ※入場無料
3. 主催 弘前大学人文社会科学部北日本考古学研究センター
共催 弘前市教育委員会
協力 青森県埋蔵文化財調査センター・青森県立郷土館・平川市教育委員会
大館市教育委員会・大鰐町教育委員会・田舎館村教育委員会・六ヶ所村教育委員会
大阪府立弥生文化博物館

4. 会場

弘前大学人文社会科学部北日本考古学研究センター展示室

〒036-8560 青森県弘前市大字文京町1番地 弘前大学文京町キャンパス 総合教育棟2階

問い合わせ先 弘前大学人文社会科学部 北日本考古学研究センター

電話：0172-39-3190

メール：kamijo@hirosaki-u.ac.jp

学 内 掲 示 板

学生特別支援室相談会開催のお知らせ

弘前大学学生特別支援室は、障害等により修学や学生生活に困難のある学生からの相談に応じ、よりよい学生生活が送れるよう支援しています。

このたび、教職員と障害等のある学生の支援について話し合うまたは相談し合うための機会として以下の日程で相談会を開催します。

障害等のある学生の支援に苦慮している、支援室スタッフに尋ねたいことがある、あるいは障害学生支援に関心がある教職員の参加をお待ちしています。事前の申込みは不要です。

開催日： H30年 10月25日（木）、11月22日（木）、12月20日（木）

H31年 1月24日（木）、2月28日（木）

時間： 14：30～15：30 （時間内は出入り自由です。）

場所： 附属図書館3階 グループラーニングルーム

対象： 本学の教職員

参加スタッフ： 室長、コーディネーター、カウンセラー、学生課職員

問い合わせ先： 弘前大学学生特別支援室

T E L：0172-39-3266（内線3266） E-mail：g-shien@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学創立70周年記念事業について

弘前大学は昭和24（1949）年5月に新制大学として発足して以来、平成31（2019）年に創立70周年を迎えます。

創立70周年に際して、国際化や男女共同参画の推進、学生支援の充実など、主として創立80周年までの10年間の教育研究の向上に資する事業を実施すべく計画を立てております。

ついては、多くの役職員の皆様から募金にご協力いただいているところではございますが、創立70周年記念事業を成功させるため、更なるご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、創立70周年記念事業のホームページでは、クレジットカードによる寄附も可能でございますので、ご活用いただければ幸いと存じます。



【弘前大学創立70周年記念ロゴマーク】

【創立70周年記念事業ホームページ】 <http://fund.hirosaki-u.ac.jp/70thproject.html>

○70周年のロゴマークを使用したパソコンの壁紙を作成しました。

右記URLからご覧いただけます。 <https://www.hirosaki-u.ac.jp/36723.html>

国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

「国立大学第47号」では、「発見！国立大学」において、弘前大学公式ウェブマガジン「HIROMAGA（ヒロマガ）」が紹介されています。ぜひご覧ください。

（本学関連記事掲載）最新号「国立大学第50号」

<http://www.janu.jp/report/koho/50gou.html>

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧ください。

<http://www.janu.jp/report/>

その他、第45号・第43号・第39号・第36号・第31号・第28号等において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から：講演会，研究発表会，部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに，下記担当にご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部総務広報課 広報グループ

E-mail: jm3012@hirosaki-u.ac.jp FAX:37-6594 内線：3029